

出張報告書

幹 事 長 印 経 理 責 任 者 印

2018年7月13日

幹事長

渡辺 豊子 殿

出張者氏名 二見 裕子 印

下記のとおり報告します。

1. 出張先 東京 早稲田大学大隈記念講堂大講堂
2. 出張日時 2018年7月11日 ～2018年7月12日
3. 出張用務 (宿泊を要する場合はその事由)

全国地方議会サミット 2018 議会のチカラで日本創生 参加の為

4. 旅 費

乗車券往復 (JR 日根野駅～JR 高田馬場駅) $¥8,640 \times 2 = 17,280$

特急券往復 (JR 日根野駅～新大阪駅) $¥650 \times 2 = 1,300$

新幹線往復 (JR 新大阪～JR 品川) $¥5,700 \times 2 = 11,400$

地下鉄往復 (高田馬場駅～早稲田) $¥165 \times 2 = 330$

宿泊代 1泊 $¥12,600$

参加費 $¥10,000$ (+振込手数料 $¥216$)

計 $¥ 53,126$

5、報 告

■ 1 日目：7 月 11 日（水）

【基調講演】「地方議会から日本を変える」13：00～13：30

北川正恭 早稲田大学名誉教授

【特別講演】「地方創生の展望」13：30～14：20

野田聖子 総務大臣（国会の為、代理で総務事務次官 安田満氏）

（休憩）

【講演、ディスカッション】「真の地方創生とは何か」14：30～16：00

片山善博 早稲田大学教授／地方創生と地方議会の役割

大西一史 熊本市長／震災復興と地方創生

北川正恭 早稲田大学名誉教授

（休憩）

【課題整理】「地方創生時代に求められる議会力」16：10～16：30

江藤俊昭 山梨学院大学教授

【パネルディスカッション】「議会力強化のための、議会事務局の変革」16：30～17：30

小林宏子 東京都羽村市議会事務局長

清水克士 滋賀県大津市議会局次長

▽進行：千葉茂明 月刊『ガバナンス』編集長

■ 2 日目：7 月 12 日（木）

【先進事例報告①】「地方創生をリードする議会へ」09：30～11：20

目黒章三郎 福島県会津若松市議会議長／住民との対話から課題解決へ

子籠敏人 東京都あきる野市議会議長／広報改革から展開する議会改革

ビアンキ・アンソニー 愛知県犬山市議会議長／自由討議で委員会提言へ

川上文浩 岐阜県可児市議会議長／委員会代表質問と政策サイクル

▽進行：廣瀬克哉 法政大学教授

（休憩）

【先進事例報告②】「政策を実現する議会へ」11：30～12：30

尾崎大介 東京都議会議長／条例マニフェストと議会改革

松本研 横浜市議会議長／議員提案条例による政策実現

（昼食）

【講演】「海外の議会制度から議会の多様性を考える」13：15～13：50

中林美恵子 早稲田大学教授

【パネルディスカッション】「多様性ある議会に向けた実践と課題」13：50～14：50

本間まさよ 東京都武蔵野市議会議長

岩永ひさか 東京都多摩市議会議員

白川静子 神奈川県茅ヶ崎市議会議員

▽進行：中村健 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長

(休憩)

【提言、総括】「政策型選挙の実現に向けて」 15:00~16:00

北川正恭 早稲田大学名誉教授、ほか

~終了後、会場の参加者全員で記念撮影

<感想>

早稲田大学大隈記念講堂大講堂において、1000名を超える地方議員が全国から参加されていて、満員の大講堂でした。講堂が重要文化財ということで飲食が出来ず、水も飲めず、水分補給は場外に出てとの事で、戸惑いました。

はじめに、北川正恭 早稲田大学名誉教授からは「地方議会から日本を変える」というテーマでの基調講演があり、各地方での議員、議会は何をすべきか、執行部の追認機関ではなく、主体は議会にあるとの事でした。

1 日目で一番印象的だったのが、大西一史 熊本市長の震災時の話でした。熊本城の復元は崩れた石垣を1個ずつ元に戻すに20年かかるとの事。震災時の避難された方は車中泊が多く、避難所には3割の方しかいなかった。避難所も半壊全壊もあり、58000人計画だったが、実際は11万人であった。公助の限界を感じたと。物流も困難で水1本も届かない状況。市長はツイッターを発信していたが、間違った情報を流すと大混乱になるので難しいと。

熊本市議会には災害時の議会、議員の行動について決め事がなかったため、議員が個々に市の幹部職員などに電話をし、地域からの陳情をつないでいたという話もされていましたが、議員が地域などで個別に集約した要望や要請事項については、「議会」で一旦取りまとめ、災害対策本部に伝達する議員の意識が必要だと思いました。熊本市は震災後、まちづくりセンターを17カ所設置し、担当職員49名を配置。たて行政を取り除き、地域の住民同士で支えあって(共助)安心して暮らせるまちづくりに取り組む。公助の限界を震災で見たことにより、共助に力を入れた事は参考となると思いました。

2 日目は、先進事例報告があり、その中でも、広報改革から展開する議会改革として子籠敏人 あきる野市議会議員の報告が興味深かった。議会だよりの表紙にこだわり→手に取ってもらう事、詰め込まない→読んでほしい量と読める量には差がある事、号ごとにターゲットを変える→新規購読者を獲得。議会報告会は「議員と話そう、みんなと話そう」と報告だけでなく、テーマを決めてグループワークを行い、意見交換を行っている。議会だよりの見せて頂きましたが、読みやすく手に取ろうと思う物でした。

また、ビアンキ・アンソニー 犬山市議会議員の報告の議員個人の一般質問あるいは代表質問から抽出した課題を議員間討議で意見を集約し、議会としての提案へとつなげる。

そのことによって、議会として、1つの成果が出る。面白い取り組みだと思いました。

最後のパネルディスカッションは女性の議長による「多様性ある議会に向けた実践と課題」でした。武蔵野市議会は女性議員が 26 人中 11 人、多摩市議会は 26 人中 11 人、茅ヶ崎市議会は 28 人中 8 人と女性議員が占める割合の高い議会のパネルディスカッションでした。岩永ひさか 多摩市議会議長から、女性議員が増えた事のメリットは、男性は縦社会を作りたがるが、女性はどちらかと言えば横つながりやネットワークを大事する傾向が強いので、委員会などでもメンバーのいいところを引き出しながら委員会運営していくのが上手い気がする。市民からは、女性議員ならではの相談できること、しやすい課題（DV、性被害）を議会に届けやすくなったとも言える。熊取町も 14 人中 4 人が女性ですが、男性、女性関係なく、互いに尊重し活動できればいいのではと思いました。今回の会合は、沢山の地方議会からの取り組みが聞けて、参考になりました。

7/11-12

早稲田大学大隈記念講堂大講堂

全国地方議会サミット2018

議会のチカラで日本創生



野田聖子
総務大臣



北川正恭
早稲田大学名誉教授



片山善博
早稲田大学教授



中林美恵子
早稲田大学教授



江藤俊昭
山梨学院大学教授



廣瀬克哉
法政大学教授

少子高齢化、人口減少など、深刻な課題が自治体に突き付けられています。そのなかで、議決権をもつ議会は、魅力的な地域づくりを行うための重大な責任と豊かな可能性をもっています。サミットでは、早稲田大学大隈記念講堂に先進的な議会が集結し、政策で地域に貢献するための実践について議論します。「地方創生時代を議会がリードする」そんな新時代への大きな場面転換の場に、これからの議会のあり方を全国に向けて発信します。

《概要》

【日時】2018年7月11日（水）13：00～17：30
2018年7月12日（木）09：30～16：00

【場所】早稲田大学大隈記念講堂大講堂
（東京都新宿区戸塚町1丁目104）

【対象】議会議員、議会事務局職員、一般 1,000名

【主催】ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟
マニフェスト大賞実行委員会

【共催】早稲田大学マニフェスト研究所

【参加費】現職議員 10,000円
議会事務局職員、一般 5,000円
（2日間分。1日のみ参加も同額）



※参加費は7月5日までに名前を明記しお振込みください。手数料はご負担ください。
三菱UFJ銀行・日本橋中央支店・普通・0200471 一般社団法人マニフェスト研究会
※1日目終了後、18:00～意見交換会を大隈ガーデンハウスにて開催します。
先着200名様。参加費（一人4,000円）は、意見交換会会場にて当日お支払いください。
※参加費に宿泊費は含まれていません。宿泊は各自で手配ください。

《お申込み》

裏面FAX用申込み用紙またはwebサイトからお申込みください
<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>

《お問合せ》

早稲田大学マニフェスト研究所（担当：永尾、中村）
TEL:03-6214-1315 / E-Mail: mani@maniken.jp

1日目：7月11日（水）13:00-17:30

※プログラムは変更の可能性がございます

【基調講演】「地方議会から日本を変える」

北川正恭 早稲田大学名誉教授、元三重県知事

【特別講演】「地方創生の展望」

野田聖子 総務大臣

【講演、ディスカッション】「真の地方創生とは何か」

片山善博 早稲田大学教授、元総務大臣／地方創生と地方議会の役割
大西一史 熊本市長／震災復興と地方創生

【課題整理】「地方創生時代に求められる議会力」

江藤俊昭 山梨学院大学教授

【パネルディスカッション】「議会力強化のための、議会事務局の変革」

小林宏子 東京都羽村市議会事務局長
清水克士 滋賀県大津市議会局次長

▽進行：千葉茂明 月刊『ガバナンス』編集長

※終了後、意見交換会を開催

2日目：7月12日（木）9:30-16:00

【先進事例報告①】「地方創生をリードする議会へ」

目黒章三郎 福島県会津若松市議会議長／住民との対話から課題解決へ
子籠敏人 東京都あきる野市議会議長／広報改革から展開する議会改革
ビアンキ・アンソニー 愛知県犬山市議会議長／自由討議で委員会提言へ
川上文浩 岐阜県可児市議会議長／委員会代表質問と政策サイクル
▽進行：廣瀬克哉 法政大学教授

【先進事例報告②】「政策を実現する議会へ」

尾崎大介 東京都議会議長／条例マニフェストと議会改革
松本研 横浜市会議長／議員提案条例による政策実現

【講演】「海外の議会制度から議会の多様性を考える」

中林美恵子 早稲田大学教授

【パネルディスカッション】「多様性ある議会に向けた実践と課題」

本間まさよ 東京都武蔵野市議会議長
岩永ひさか 東京都多摩市議会議長
白川 静子 神奈川県茅ヶ崎市議会議長

【提言、総括】「政策型選挙の実現に向けて」

北川正恭 早稲田大学名誉教授、元三重県知事、ほか ※終了後、参加者全員で記念撮影

《 FAX用 申込み用紙 》

お名前		電話番号	
ご所属		メールアドレス	
参加内容	<input type="checkbox"/> 1日目研修会	<input type="checkbox"/> 意見交換会	<input type="checkbox"/> 2日目研修会

F A X 送信先



03-6214-1186

領 収 書

熊取公明党
二見 裕子 様

¥ 10,000

但：「全国地方議会サミット2018」参加費 として

2018年 7月 11日

一般社団法人マニフェスト研究会
ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟事務局
〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-4-1
日本橋一丁目三井ビルディング
電話：03-6214-1315



ご利用明細

三菱UFJ銀行

ご来店いただきありがとうございます。
このご利用明細は必ずお持ち帰りください。

年月日	取扱店番	お取引内容
3007030710272		お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
3497		
時刻	税込手数料	お取引金額
11.59	¥216*	¥10,000*
お取扱いできない場合	残高	

ご案内 おつり *****

お振込先は
三菱UFJ銀行
日本橋中央支店
普通 0200471
イッハ・ソツヤタソホウツソ マニフ
エストケンキョウカイ様
ご依頼人は
クマトリチョウ フタミヒロコ様
電話 0724526584




APA HOTELS & RESORTS

領 収 書

熊取公明党 二見裕子 様

金額 ¥12,600

(内消費税等)
現金にて領収いたしました。

アパホテル <新宿御苑前>
TEL 03-5369-3622

印紙税申告納
付につき麻布
税務署承認済

アパホテル株式会社
作成地
東京都港区赤坂3丁目2-3

取引番号: 023001P071179317 2018/07/11 18:28

お部屋番号: 1306

お名前 : フタミヒロコ様
ご人数 : 1
宿泊期間 : 2018/07/11 - 2018/07/12